

持続可能な未来の為に

低GWP冷媒R-448A (GWP値:1387)

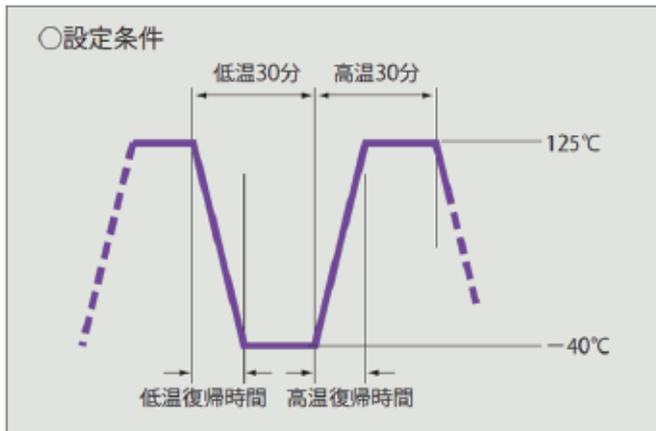
を搭載した温度サイクル試験器

WINTECH® NEO デビュー
TEMPERATURE CYCLE / THERMAL SHOCK CHAMBER



最速の温度復帰時間 × 低GWP

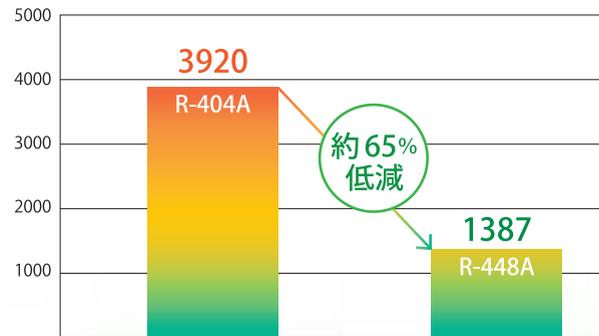
■ 温度復帰時間5分以内



温度サイクル試験器に求められる重要な性能の一つが温度復帰時間です。ETACでは省スペース50ℓ空冷の小型タイプで、業界最速の温度復帰時間を実現。

■ GWP値65%DOWN

従来のR-404AとR-448A、GWP値の比較



重要な基本性能はそのままに、これからの開発現場に求められる環境対策の為に温度サイクル試験器の低GWP化を実現しました。

低 GWP
R448A
新型冷媒を
採用
GWP1387



低GWP冷媒搭載 新型温度サイクル試験器(気槽式)
NT1251W、NT551A

ETACは皆様の地球温暖化防止対策に

低GWP冷媒搭載の環境試験器の提供で貢献します。

■ エタックの低GWP化 今まで軌跡

2018年 国内初 恒温恒湿槽HIFLEX NEO-EシリーズにおいてR-404Aを全廃

2019年 小型恒温恒湿槽HIFLEX NEO-ESシリーズにおいてR-404Aを全廃

2020年 国内初 超低温恒温恒湿槽においてR-23代替の低GWP冷媒R-469A搭載モデルを発売開始

2020年 低GWP冷媒R-469Aの国内流通事業を開始。国内の生産から供給までを担う。

2021年 国内初 気槽式温度サイクル試験器WINTECHシリーズにおいてR-404Aを全廃

NT551Aモデルの特長

・コンパクトでも高性能

省スペース50ℓ空冷の小型タイプで、業界最速の温度復帰時間を実現しました。

・低GWP冷媒R-448Aを標準採用

地球温暖化防止への貢献と旧冷媒採用によるメンテナンスリスクの低減を両立します。

・最大38%の省エネを達成

独自のECOモードの採用で、年間で数十万円の電気料金が削減できます。

・安心・快適・手間いらず

豊富なフィールド実績の中から生まれた数々の付属機能が快適な試験環境を提供いたします。

型式	NT551A
温度サイクル方式	ダンパによる冷熱風切替方式(試料静止方式)
適用試験	2ゾーン及び3ゾーン温度サイクル試験
低温試験温度範囲	-65°C~0°C
高温試験温度範囲	+60°C~+200°C
温度復帰性能(復帰条件)	2ゾーン 風上センサ
	高温さらし +125°C 30min
	低温さらし -40°C 30min
	試料3.5kg (IC2.5kg+棚板1kg)
温度復帰性能(復帰時間)	5分以内
試験室寸法 (W × H × Dmm)	370 × 330 × 400
本体外法寸法 (W × H × Dmm)	1150 × 1800 × 1315
本体質量 (kg)	約720
冷却方式・冷媒	二元冷凍方式(空冷) R-448A+HFC23
電源	AC200V 3相 50 / 60Hz 電源変動幅 ± 10%
最大電流 (A)	55